活躍する駒大の長城陣　～優勝を目指して～

2011/10/23
駒大 VS 早大　in 東伏見

林堂　眞

大学サッカー界屈指の DF リーダー

チームの主将としてチームを引っ張る中心選手。今節、ヘディングでは絶対的強さを見せつけ、「練習していた」というフリーキックを相手ゴールに突き刺して見せた。ゴール後は応援してくれている選手のところへ最初に飛び込み、喜びを分かち合った。

リーダーとして何をやるべきかをしっかり理解しており、「特徴を活かすため対人の強い江川と三宅をカバーできるようにした」と述べ、チームプレイを忘れない。

彼のサッカー人生を今後も期待したい。

高さを活かした屈強巨壁

先発で起用された長身ディフェンダーは、主将の林堂と組んだセンターバックのポジションを、安定した守備でみごとにこなし、相手の攻撃を防ぎきった。後期は完封もあれば、失点を重ねてしまうシーンがあったりと、あまり安定してないように見える駒大ディフェンスに２人のコンビネーションが光をかざした。

身体を十分に生かした高さと強さを見せる長身ディフェンダーが、今後、相手の脅威となり、本人も口ずさむ“優勝”に向かって奮闘する。

三宅　徹

１対１で力を発揮!サイドバックで存在感

駒大ディフェンスを支え続けた頼れる右サイドバック。前期、途中出場で試合経験を増やすと、後期はスタメンに定着し、存在感を増している。

監督から「１対１のディフェンスが良い」と言われるように、今節、左サイドを多用してきた早大アタッカー陣の攻撃を防ぎ続けた。相手が切り込んできても粘り強くついていき、クロスを挙げられても体に当ててチャンスの芽を潰すなど、勝利に貢献したことは間違えない。

今後も彼のプレーに注目したい。

三澤祥馬

相手を跳ね返す DF 陣最後の守り神

なかなかキーパーが定着しない今期の駒大に、第 12 節に初出場ながら好プレーを連発し、スタメンに定着しつつある注目株。まだまだ実力は未知数であるが、だからこそ期待することができる新戦力。

とても謙虚な性格であり、「ディフェンダーのおかげ」、「まだまだ」と口にするが、それだけ向上心を持っているということだろう。

駒大の“絶対守護神”と呼ばれる日は、そう遠くないかもしれない。

檜山昇吾